



いのちの大切さを考える 東井義雄教育塾 の開催

平成15年度から平成21年度までの7年間、東井義雄さんを顕彰する事業として、毎年テーマを決めて、自分の人生に大きな影響を与えたことばを全国公募する『東井義雄 いのちのことば募集』事業を行ってきた。

平成22年度からは、新規に市の補助事業として「東井義雄の心を伝える推進事業」が始まり、平成23年度の同推進事業の主要事業として東井義雄教育塾を開催する。

1. 目的

「子どもはいのちのふるさと」「どの子ども子どもは星」の考えのもと、きらきら輝く子、ふるさとを愛する子を育てたいと「村を育てる学力」「いのちの教育」の実践・探求に尽くされた教育者・東井義雄さんの足跡を学び、理解を深める。

「家庭」「学校」「地域」が手を携えて、子どもの「感じ方」「考え方」「行い方」を磨き、すべての人やあらゆるいきものの「いのちを大切にふるさとづくり」を考える。

2. 日時 8月21日(日) 13:30~16:00

3. 場所 市立但東市民センター ホール

4. 日程

(1) 開会(13:30~13:40)

- ・白もくれんの会会長 西垣 勉さん
- ・「どの子ども子どもは星」のCD披露

(2) メッセージ(13:40~13:50)

豊岡市長 中貝 宗治

(3) 講演(13:50~15:50)

講演

演 題

「東井教育の今日的意義とは」

東井義雄先生のめざした「授業づくり」「学校づくり」

講 師

豊岡市立豊岡小学校長 嶋 公治

講演

演 題

「1・17その時学校は」

阪神・淡路大震災を体験して、

生徒と取り組んだ復旧・復興の「まちづくり」

講 師

神戸市立布引中学校長 森脇 毅 さん

(4) 閉会(16:00)

5. 参加者 市内小中学校教諭、PTA関係者、但東町内各区長、集落リーダー、但東青少年健全育成子育て応援団、いのちの輝き体験教育旅行受入農家、一般(事前申込不要)など



6. 主催 白もくれんの会

《参考》

【東井義雄】

1912年京都市生まれ、3歳の時に但東町へ。1932年から10年間豊岡市豊岡尋常高等小学校在職。この間、多くの論文を発表、綴方教育界で存在を認められるようになる。1959年、母校の相田小学校長となり、「ペスタロッチー賞」を受賞。1960年、「小砂丘忠義賞」を受賞。1962年、神戸新聞社より「平和文化賞」を受賞。1967年、兵庫県知事より「教育功労賞」を、学習研究社より「学研教育賞」を受賞。1971年、文部省より「教育功労賞」を受賞。1981年、但東町より「教育特別功労賞」を受賞。1982年、内閣総理大臣より「勲五等双光旭日賞」を受章。1988年、「正力松太郎賞」を受賞。1991年、逝去、内閣総理大臣より叙位、従五位受賞。

ペスタロッチー賞

ペスタロッチー(スイスの教育家)の遺徳を偲び、教育理念を学ぶために、広島文理大学(後、広島大学)で、昭和30年よりペスタロッチー賞が設けられて、全国の教育功労者の中から毎年1名を選んで贈呈されるようになった。東井さんは第5回目の受賞者となる。初等教育関係の現場教師の授賞は初めてのことであった。

小砂丘忠義賞

小砂丘忠義賞は、日本作文の会が成果を挙げた実践者に贈る賞として、昭和27年(1952)に設定された。

正力松太郎賞

日本仏教教団60余派が、読売新聞社主の正力松太郎氏の提唱で昭和52年(1977)に設立した、全国青少年教化協議会が青少年の育成・社会の情操教育に努めた個人や団体に贈る賞。

【白もくれんの会】

但馬・理想の都の祭典が開催された1994年7月、東井義雄記念館竣工。東井さんの遺徳を偲ぶと共に、その教育精神を末長く後世に伝承し、もって教育の振興に寄与するため、白もくれんの会が同年10月に設立された。

構成員；会員＝諸事業に直接参加する。(年会費3,000円)会員数158人

会友＝会報等をとおして活動に参加。(年会費1,000円)会友数180人

主な活動内容；

- ・東井義雄先生を偲ぶ会開催
- ・会報発行(年2回)
- ・いのちのことばカレンダーの発行
- ・出前講座
- ・東井義雄の心を伝える推進事業(豊岡市補助事業)
(東井義雄教育塾、読書会、いのちの輝き体験教育旅行の啓蒙・支援)
- ・企画展(東井義雄「いのちの教育」のパネル展示、書籍販売等)



【「どの子ども子どもは星」のCD】

- ・作成経緯：城 寿子さんが熊本県菊池ひかり保育園勤務されていた当時(現在は東京在住)、園行事で東井さんの詩『どの子ども子どもは星』に出会われた。その後、同園長の立山心徹さん夫妻が東井義雄記念館に来訪され、詩に曲をつける了解を得られた。東京に移られた城さんがコーラスを習っている「a l l a (アッラ)原宿合唱団」代表者の安東みどりさんに作曲を依頼し、「どの子ども子どもは星」の曲ができた。曲は、同コーラス講師である下司愉宇起さんのCD『星からのメッセージ』(平成23年3月24日発売)に収録されている。東井さんの詩に曲がつき、CDとして発売されたのは初めてである。
- ・作曲者：安東みどりさん

国立音学大学卒業。ピアノ、オルガン、キーボード奏者として全国で演奏活動を行う傍ら、数多く作曲、編曲。読売巨人軍の音楽(所属当事、オープニング映像曲、スタメン発表曲、選手が守備につく時の曲、試合中のアタック曲など制作)、北海道日本ハムファイターズの音楽(現在も専属。巨人軍のような曲以外にウエルカムソング、勝利時、お帰りの曲、ドームで流れるCM、優勝時の音や映像音楽まで多数)、埼玉西武ライオンズの音楽(ウエルカムソング、勝利時の音とオープニング映像の音など)も制作。

〔問合せ〕豊岡市但東総合支所地域振興課 0796 - 21 - 9032
東井義雄記念館 0796 - 54 - 1000